

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 2025031-060					担当教員	広田 秀樹 （ヒロタ ヒデキ）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目／学生参加型 AL								

① 授業のねらい・概要	<p>グラスルーツグローバル化という地域活性化プログラムに取り組む。具体的には、第1に地域の外国人の方等をゼミに招待し意見交換を行う。第2に外国人の方等が集まる場を訪問し活発な交流を深める。第3に上記活動等を切っ掛けに、知的学習を深化させ知見・視野を拡大する。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連	<p>地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力を育成する授業。</p>
③ 授業の進め方・指示事項	<p>ゼミの「グラスルーツグローバル化・地域活性化プログラム」の10年以上の伝統から概略を理解した上で、学生自身がチームを組み大胆かつ自主的に新しい企画で、進めること。</p>
④ 関連科目・履修しておくべき科目	<p>地域経済論</p>
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安	<p>(i) グローバル化と地域の関係を理解できること。                  (ii) グローバルな知見・視野を拡大すること。                  (iii) グローバル化のファクターを地域発展に取り込む戦略を提言できること。</p>
⑥ テキスト（教科書）	<p>学習資料を配布する。</p>
⑦ 参考図書・指定図書	<p>スティーブン・カースルズ、マーク・J・ミラー（関根政美・関根薫訳）（2011）『国際移民の時代』名古屋大学出版会</p>

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) グローバル化と地域の関係の理解	グローバル化と地域の関係について資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	グローバル化と地域の関係について資料等に頼らず説明できる。	グローバル化と地域の関係について資料等を参照しながら説明できる。	グローバル化と地域の関係について資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	グローバル化と地域の関係について資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(ii) グローバルな知見・視野の拡大	授業内容を越える水準でグローバルな知見・視野を拡大している。	授業内容に沿って十分にグローバルな知見・視野を拡大している。	授業内容に沿って不十分ながらグローバルな知見・視野を拡大している。	授業内容に沿って辛うじてグローバルな知見・視野を拡大している。	グローバルな知見・視野の拡大ができていない。
(iii) 地域発展に関する提案	地域発展に関して効果的かつ独創的な提案ができる。	地域発展に関して適切な提案ができる。	地域発展に関して不十分ながら提案ができる。	地域発展に関して辛うじて提案ができる。	地域発展に関して提案ができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			10%	25%	40%	25%		100%
(i) グローバル化と地域の関係の理解			10%		10%	10%		30%
(ii) グローバル関連知見・視野拡大				10%	20%	10%		40%
(iii) 地域発展に関する提案				15%	10%	5%		30%
フィードバックの方法	レポート等に助言をつけ討論資料として紹介する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
人口構造の激変を中心要因に地域は生き残り、勝ち残りを迫られている。若者特有の固定観念、通説を打ち破るエネルギー、潜在力を引き出すようなゼミを、引き続きつくって行きたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション・ブレインストーミング	ブレインストーミングの内容に関するレポート	120分
2	グラスルーツグローバリゼーションとは何か	関連考察レポート	120分
3	宇宙史的スケール、人類史的スケールの視点	関連考察レポート	120分
4	ゼミへの招待活動Ⅰ	関連考察レポート	120分
5	ゼミへの招待活動Ⅱ	関連考察レポート	120分
6	ゼミへの招待活動Ⅲ	関連考察レポート	120分
7	ゼミへの招待活動Ⅳ	関連考察レポート	120分
8	招待活動の振り返り	関連考察レポート	120分
9	地域での国際交流活動Ⅰ	関連考察レポート	120分
10	地域での国際交流活動Ⅱ	関連考察レポート	120分
11	地域での国際交流活動Ⅲ	関連考察レポート	120分
12	地域での国際交流活動Ⅳ	関連考察レポート	120分
13	国際交流活動の振り返り	関連考察レポート	120分
14	中間レビューの準備	関連考察レポート	120分
15	中間レビュー	関連考察レポート	180分
16	中間レビューの振り返り	関連考察レポート	120分
17	Learning by Stimulation of Globalization (LSG)とは何か	自学自習課題の設定に関するレポート	120分

18	LSGによる学習と発表Ⅰ	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	120分
19	LSGによる学習と発表Ⅱ	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
20	LSGによる学習と発表Ⅲ	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
21	LSGによる学習と発表Ⅳ	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
22	成果発表会準備Ⅰ	自学自習関連レポートとグラウンドプレゼン関係性考察のレポート	120分
23	成果発表会準備Ⅱ	グラウンドプレゼン・コンテンツ準備	180分
24	成果発表会準備Ⅲ	グラウンドプレゼン・コンテンツ準備	180分
25	成果発表会の振り返り	グラウンドプレゼン実行に関する考察レポート	120分
26	報告書作成分担の検討	自学自習関連レポートと報告書関係性考察のレポート	120分
27	報告書作成作業Ⅰ	報告書分担部分作成	180分
28	報告書作成作業Ⅱ	報告書分担部分作成	180分
29	報告書作成作業Ⅲ	報告書分担部分作成	180分
30	まとめ	自分の総合的レベルアップの考察に関するレポート	120分

⑫ アクティブラーニングについて
学生参加型ALを採用する。「指示待ち」ではなく、学生がチームを編成した上で、自主的に課題を考察し、具体的な戦略、戦術を計画し、実行するスタイルを徹底する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性